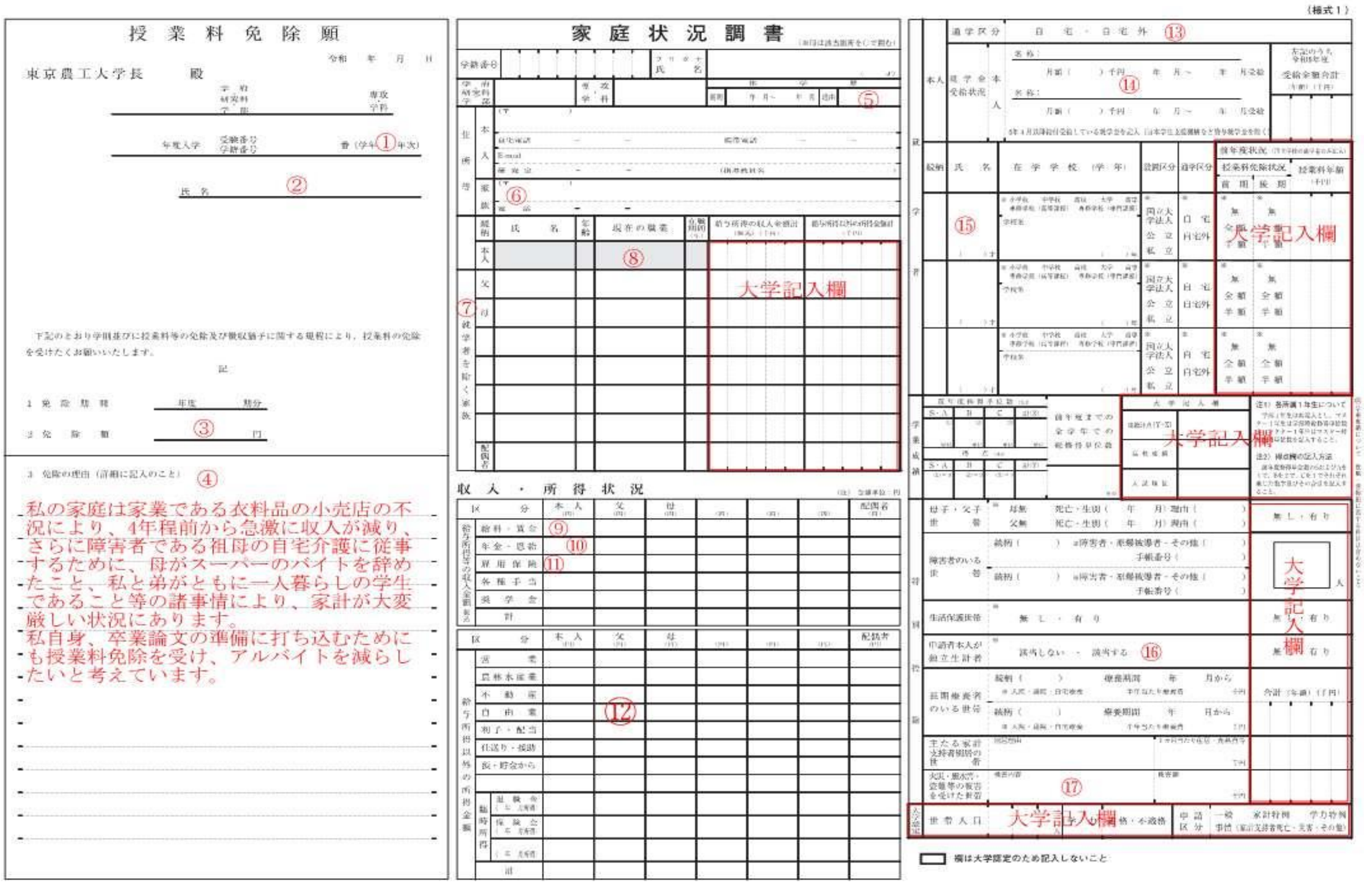
授業料免除願・家庭状況調書(様式1)記入上の注意



授業料免除願

東京農工大学長　殿

①

②

下記のとおり学則並びに授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程により，授業料の免除を受けたくお願いいたします。

③

④

私の家庭は家業である衣料品の小売店の不況により、4年程前から急激に収入が減り、さらに障害者である祖母の自宅介護に従事するために、母がスーパーのバイトを辞めたこと、私と弟がともに一人暮らしの学生であること等の諸事情により、家計が大変厳しい状況にあります。
私自身、卒業論文の準備に打ち込むためにも授業料免除を受け、アルバイトを減らしたいと考えています。

家庭状況調書

⑤

⑥

⑦

⑧

大学記入欄

収入・所得状況

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

大学記入欄

記入時の注意

① 学年　　マスター、ドクターの学生はM1,D1のように記入する

② 氏名　　申請者(学生本人)が自著する

③ 免除額　　半期授業料を記入する　(下の表参照)

※学部3年次編入生の入学年度→編入年度から2年遡った年度（例：2024年4月に編入生の入学年度は2022年度）

※ドクター学生でマスターからの進学者の入学年度→マスターの入学年度

授業料					
学部		大学院		産業技術専攻	
入学年度	半期授業料	入学年度	半期授業料	入学年度	半期授業料
2023年度以前	267,900円	2024年度以前	267,900円	2024年度以前	286,200円
2024年度以降	321,480円	2025年度以降	321,480円	2025年度以降	321,480円

入学料	282,000円

④ 免除の理由　　「経済的に授業料の納入が困難なため」といった漠然とした理由ではなく、原因、何時頃から、なぜ困難なのかといった具体的な理由を詳細に記入する。

⑤ 休学歴欄　　休学歴があるものはその期間と理由を記入

⑦ 就学者を除く家族欄　同居・別居を問わず、生計を共にする、就学者以外の家族を記入

就学者と各種学校の在学生の区分は要領「III. 在学に関する証明書類」箇所を参照し、各種学校などの在学者はこの欄に記入

留学生は在日する家族のみ記入

⑧ 現在の職業欄　　空欄にせず、具体的に記入

⑨ 給与・賃金　　源泉徴収の「支払額」欄の金額、様式6の給与・賞与見込み額、様式5の給与(見込み)年額、確定申告(控)の給与の収入金額を記入

専従的給与、役員報酬、日本学術振興会研究奨励金、TA/RA手当も含む

⑩ 年金・恩給　　最新の支払い通知書などから算出される受給(見込み)学を記入

⑪ 雇用保険　　雇用保険受給資格証の「基本手当日額」×「所定給付日数」の額を記入

⑫ 給与所得以外の所得金額　それぞれ該当する欄に記入。記入金額は確定申告(控)の「所得金額」(＝収入金額-必要経費)等

⑬ 通学区分　　独立生計者は自宅と

⑭ 奨学金受給欄　　様式2の申告内容を記入。日本学術振興会研究奨励費金は収入・所得状況欄の給料・凛銀等に記入

⑮ 就学者　　要領「III. 在学に関する証明書類」箇所を参照し、就学者を記入

各種学校などの在学者は、就学者を除く家族欄に記入

⑯ 独立生計者　　留学生は独立生計者として該当するに〇をつけて申請

ただし、在日する家族の扶養下にある留学生は世帯生計となるため該当しないに〇

⑰ 火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯　確定申告(控)の雑損控除額等を記入